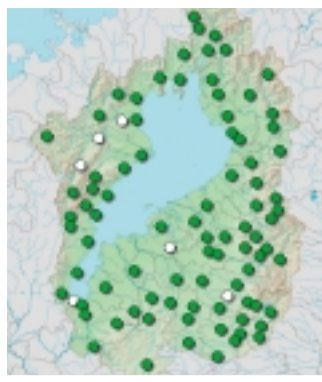


う際の支援として、県の地域防災計画の中で、危険区域にある住民の皆さんを安全な場所に避難させるための避難方法を明確にするにとともに、県内の雨量や河川ごとの水位等の情報を、防災情報システムを通じてリアルタイムで提供しています。

本県で同様の事態が発生した場合の対応策について、県と市町村とで検討を進め、初期段階における具体的な改善策をまとめたいと考えています。



雨量情報管理・水防雨量実況図

琵琶湖・淀川流域の諸課題

問 様々な課題を抱える琵琶湖・淀川流域の現状と、今後、滋賀県が果たしていこうとする役割について伺います。

答 琵琶湖・淀川流域は、治水と瀬田川洗堰の全閉操作、利水面では下流の利水と琵琶湖の水位管理、さらには琵琶湖の生態系など環境の面でも、様々な課題を抱えています。今こそ流域関係者が一体となって、こうした課題の解決のために、包括的な合意づくりに取り組んでいかなければならないと考えます。

都市再生プロジェクトも動き出し、琵琶湖・淀川流域は新時代を迎えようとしています。滋賀県は、総合的な水量管理、ビジ

ョンの提案をはじめ、流域を統合的に管理する仕組みや組織など、新時代にふさわしい枠組みづくりについて、積極的に提案していきたいと考えています。

少子化の進行と子育て支援

問 出生率の低下が続く現状をふまえ、現在、策定が進められている県の行動計画の考え方について伺います。

答 昨年7月、次世代育成支援対策推進法が制定され、次世代育成のための行動計画の策定・実施が自治体に義務づけられました。行動計画では、基本的な理念や方向性とともに、具体的に、地域における子育て支援や子どもの成長のための教育環境の整備、良質・良好な居住環境の整備、子育てと仕事の両立支援など、幅広い分野で地域の特性を生かした施策を示したいと考えています。また、昨年度、市町村で実施された子育て支援に関するニーズ調査の結果等をふまえ、県全体の目標事業量を設定し、少子化対策を確実に推進できるよう取り組んでいきます。

住みよい福祉のまちづくりの推進

問 「滋賀県住みよい福祉のまちづくり条例」の一部改正にあたっての考え方と、今後の取り組みについて伺います。

答 ニーズの多様化等をふまえ、今回、条例を大幅に見直し、改正することとしました。これは、これまでのいわゆる「バリアフ

リー」の取り組みに加え、だれもが利用しやすいようにしていくという「ユニバーサルデザイン」という考え方で、まちづくりを進めていこうとするものです。

新駅整備についての県の費用負担の考え方と、費用が高つく高架下駅にする必要性について伺います。

答 新駅は、観光客の誘致や企業活動の活性化など様々な効果が期待され、その効果は県南部地域はもとより県全域の発展につながる全県的なプロジェクトであると認識しており、県としては、これまでの例にとらわれることなく、一歩踏み込んだ形での負担と調整が必要であると考えています。

新駅を高架下駅とするのは予定位置が「盛土区間」であるためですが、位置の選定は、利活用の観点から、現在の位置とするのが合理的と考えたものですか。

答 また、新駅を高架下駅とするのは予定位置が「盛土区間」であるためですが、位置の選定は、利活用の観点から、現在の位置とするのが合理的と考えたものです。

健康づくりの推進

問 生活習慣病に対する総合的な予防対策の取り組みについて伺います。

答 本県では、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を目指し、平成12年度に「健康いきいき21」プランを策定し、栄養、運動、休養に加えて糖尿病や心

すべての県民の皆さんがいつでも健康で生きがいをもつ暮らしを、このような取り組みを総合的に進めていきたいと考えています。

疾患、脳卒中、がんなどを対象とした数値目標を設定しました。また、健康づくりを県民運動として展開するとともに、健康づくりを支援する社会環境づくりを進めているところです。

7月定例会質問一覧

◆代表質問◆

- 佐野 高典 議員(自由民主党・湖翔クラブ) 科学技術の振興について
- 三位 一徳 議員(自由民主党・湖翔クラブ) 三位一体改革と今後の財政運営の考え方について
- 地震防災対策について
- 琵琶湖・淀川流域の諸課題について
- 新滋賀県環境総合計画に基づく今後の環境行政について
- 少子化のより一層の進行と次世代育成支援対策について
- 住みよい福祉のまちづくりの推進について
- 県版経済振興特区計画の認定と今後の推進方策について
- コイヘルズウイルス病について
- 水害防止に対する県の取り組みと河川適正利用対策について
- 本県の教育の現状と課題について
- 県立高等学校通学区域制度について
- 大井 豊 議員(県民ネットワーク) 市町村合併に伴う県のあり方について
- 県内大学の諸問題について
- 予算編成のあり方について
- 東海道新幹線(仮称)びわこ栗東駅の設置について
- 指定管理者制度について
- コイヘルズウイルス病について
- 子育て支援について
- コラボしが21の運営について
- 県立高等学校の通学区域変更について
- 教育長の所信を問う
- 徳永 久志 議員(県民ネットワーク) 格差と社会について
- 景観行政について
- 各種詐欺事件について
- 家森 茂樹 議員(自由民主党・湖翔クラブ) 子どもに関する条例について
- 梅村 正 議員(公明党) 経費削減への取り組みについて
- 危機管理の強化について
- 滋賀県住みよい福祉のまちづくり条例の一部改正と関連する課題について
- 健康県滋賀づくりに関して
- 北野 加代子 議員(県民ネットワーク) 「琵琶湖エコツーリズム」の推進について
- アール・ディエンジニアリング最終処分場環境改善工事について
- ユニバーサルサービスについて
- 清水 克実 議員(自由民主党・湖翔クラブ) 滋賀県における生物多様性対策について
- 教育基本法改正について
- 中沢 啓子 議員(県民ネットワーク) 高等学校教育のあり方について
- (1) 高等学校の通学区域制度の変更に関連して
- (2) 高等学校改革について
- 山田 和廣 議員(自由民主党・湖翔クラブ) 東海道新幹線(仮称)びわこ栗東駅の新設について
- 全国都市緑化フェアの誘致について
- 有害鳥獣駆除について
- 沢田 享子 議員(県民ネットワーク) 公正で積極的な選挙のあり方について
- 森 茂樹 議員(日本共産党滋賀県議員団) 少子化対策について
- 琵琶湖・淀川流域の将来ビジョンについて
- 一連の警察の不祥事について
- 東海道新幹線(仮称)びわこ栗東駅について
- 瀬田地域への大規模小売店舗の進出について
- 桐山 ヒサ子 議員(日本共産党滋賀県議員団) 山岳地域における「オーバークース」の現状と対策について
- 下水道計画について
- JRバスの廃止問題について
- 県立高校通学区域制度について
- 出原 逸三 議員(県民ネットワーク) 琵琶湖の水質について
- 痴呆性高齢者グループホームの設置について
- 雇用問題について
- 電線の地中化について
- 青木 愛子 議員(県民ネットワーク) 学校教育について
- (1) 環境教育の一層の推進について
- (2) 小学校における英語教育の実施について
- (3) 指導力不足教員について
- 弱者への虐待問題について
- (1) 幼児、児童への虐待について
- (2) 高齢者への虐待について
- (3) 障害者への虐待について
- 葛田 恵子 議員(自由民主党・湖翔クラブ) 滋賀県における知的財産の活用戦略について
- 小寺 裕雄 議員(自由民主党・湖翔クラブ) ワールドマスターズゲームズの総括
- 滋賀の教育について
- 県立高校の通学区域の変更について
- 朝の読書推進運動について
- 集中豪雨の防災対策について
- 捜査報酬費について
- 太田 正明 議員(自由民主党・湖翔クラブ) 草津市内・住居隣接の産業廃棄物中間処理業者への行政指導について
- コイヘルズウイルス病によるへい死ゴイ回収作業に係る漁業関係者の協力への対応について
- 悪化する南湖の現状および繁茂する藻の影響とその対策について
- 岡崎 基子 議員(県民ネットワーク) 県南部広域処理システム施設整備計画委員会のあり方について
- 西沢 久夫 議員(県民ネットワーク) 滋賀県中期財政計画について
- 新しいライフスタイル夏季パイロット事業について
- 健康対策に関する長期的取り組みについて
- 県版経済振興特別区域制度について
- マスターズスポーツの環境整備について
- 駐車場付置義務と集会施設周辺の迷惑駐車について

用語解説

2 都市再生プロジェクトは、関係する国の機関、地方自治体等が一体的に取り組むものとして、内閣に設置された都市再生本部で決定されます。琵琶湖・淀川流域圏を健全な姿で次世代に継承するため、「琵琶湖・淀川流域圏の再生」は、平成15年11月、都市再生プロジェクトとして決定されました。

3 バリアフリーとは、高齢者、障害者などの人々の行動を阻む様々な障壁を取り除くことにより、だれもが自らの意思で自由に行動できるようにしていこうという考え方のことです。

4 ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、すべての人が利用可能なように、常によりよいものに改良していこうという考え方のことです。